

# ごあいさつ



取締役頭取 吉永 國光

皆さまには、平素より東和銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。当行に対するご理解を一層深めていただくために、本誌を作成いたしました。2007年度中間期の業績を中心として、できるだけ詳しく紹介させていただいておりますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、わが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資は底堅く推移しましたが、個人消費は株式市場の低迷やガソリン価格の上昇により足踏みを続け、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題に端を発した金融・資本市場への影響により景気後退が懸念されております。

こうしたなか、当行の平成20年3月期中間決算については、当初予想を上回る与信費用の計上により、連結中間純利益は29億58百万円の赤字となりました。

また、当行は、平成19年10月12日付の業務改善命令に基づき、関東財務局長に「業務改善計画」を提出いたしました。

日頃から、当行を信頼し、お取引いただいておりますお客さま並びに株主の皆さま、また関係する皆さまにご心配とご迷惑をお掛けしましたことに、心から深くお詫び申し上げます。

当行は、業務改善命令を厳粛に受け止め、「業務改善計画」を着実に実行するとともに、「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、当行の経営体質の抜本的な改善により、将来に向けた確かなステップアップを実現するため、「営業力の強化」「資産の健全化と効率化」「コンプライアンス態勢・リスク管理態勢の強化」「経費の削減」「自己資本の強化」を5本柱に据えた収益改善計画「プランフェニックス」を策定いたしました。

当行は、この「プランフェニックス」を平成21年度末までに集中的かつ着実に実行し財務内容のさらなる向上を図るとともに、地域への円滑な資金供給や質の高い金融サービスの提供を通じて地域経済の発展に寄与することで揺るぎない経営基盤の確立を目指してまいります。

これからも、「地域から頼られる銀行」として、役職員一丸となって、株主の皆さまやお取引先の皆さまのご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2008年1月

東和銀行 取締役頭取

吉永國光